

# 序

昭和45年度の本県教育行政および、教育活動全般にわたって、その概要を集録した「教育年報」を刊行いたしました。

昭和45年度は、1970年代の最初の年であり、国においては、7月に国際教育年を記念する式典が開催され、中央教育審議会が「初等・中等教育および高等教育に関する教育改革の基本構想」の中間報告がなされ、また9月には、社会教育審議会が「急激な社会構造の変化に対応する社会教育のあり方について」中間発表したことなど、教育界にとって重大な意義のある年であったと考えます。

本県においても、70年代の展望にたち、県教育行政にのぞむ基本理念として、「豊かな人間性と国民的資質の育成」をはじめとした五項目をかかげ、その具体化をはかるべく「福島県長期総合教育計画第2期実施計画」を策定し、その実現化に努力してまいりました。その結果、市町村教育委員会ならびに関係機関・教職員各位のご協力により、本誌に集録のとおり、県民の期待に添える実績をあげることができました。

本誌は、こうした本県教育関係者の努力の成果を集録した重要な行政資料であります。

関係各位には、本誌に集録された成果を「礎」として、残された課題を逐次解決されるよう希望いたします。

昭和46年9月10日

福島県教育委員会教育長 三本杉 國 雄